

## 電話帳の設定・編集をする

電話帳は、次のいずれかの方法で電話番号（電話帳データ）を登録しておくことができます。

- 携帯電話に登録してある電話帳を本機の電話帳に転送する。

- 本機の電話帳に新規登録する。

- 履歴データから登録する。

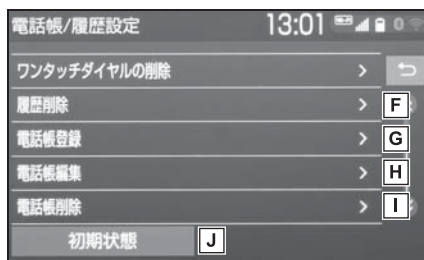
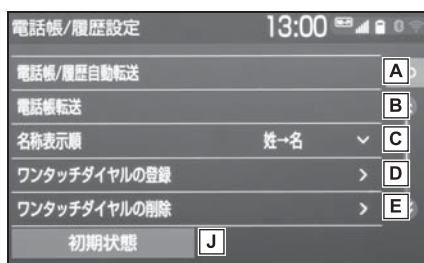
これらの操作をした上で、  
次ページ以降の  
設定操作・転送操作を行います。

- 1 電話設定・編集画面を表示する：

- “MENU” スイッチ → “設定・編集” → “電話” を順に選択。

- 2 “電話帳／履歴設定” を選択。

- 3 各項目を設定する。



- A** PBAP に対応している携帯電話の電話帳／履歴の自動転送設定をします。

- ・携帯電話の電話帳や履歴が更新されている場合、本機の電話帳や履歴も更新されます。
- ・自動転送は、エンジンスイッチ<パワースイッチ>をイグニッション ON モード< ON モード>にし、初めて携帯電話が Bluetooth 接続されたときや使用する携帯電話を切り替えて、Bluetooth 接続されたときに行われます。

**B** OPP に対応している携帯電話の電話帳、または USB メモリーに登録してある電話帳の転送をします。

**C** 電話帳の表示順を変更します。

**D** 電話帳に登録済みの電話番号をワンタッチダイヤルに登録します。

**E** ワンタッチダイヤルに登録済みの電話番号を削除します。

**F** 履歴データを削除します。

**G** 新規連絡先を電話帳に登録します。

**H** 登録済みの電話帳を編集します。

**I** 登録済み連絡先を削除することができます。

**J** 初期設定の状態に戻ります。

※ PBAP に対応している携帯電話で「電話帳／履歴自動転送」を「する」に設定しているときは、この機能は利用できません。

## 知識

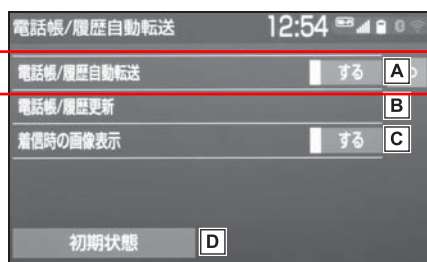
- 電話帳は接続された携帯電話 1 台につき、5000 名分のデータを登録することができます。接続されている携帯電話の電話帳が表示されます。
- 電話帳には 1 名につき最大 4 件の電話番号が登録できます。
- 接続された電話機ごとに電話帳は管理されます。

自動転送の設定操作

### 電話帳／履歴自動転送を設定する

PBAP に対応している携帯電話では、Bluetooth 接続時に携帯電話の電話帳データを自動転送することができます。

- 1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。
- 2 各項目を設定する。



**A** 電話帳と履歴の自動転送のする／しないを選択します。

**B** 電話帳と履歴を更新します。

**C** 着信時の画面表示のする／しないを選択します。

**D** 初期設定の状態に戻ります。

## 携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

- この機能は、OPP か PBAP のどちらかに対応している携帯電話で使用できます。ご使用の携帯電話が OPP、PBAP に対応しているかは携帯電話に添付の取扱説明書または本機と接続中の携帯電話の対応プロファイルを確認してください。

再度自動転送したい場合

▶ PBAP を利用して電話帳データを転送するとき

- 1 “電話帳／履歴自動転送” を選択。
  - 2 “電話帳／履歴更新” を選択。
  - 3 電話帳更新画面が表示される。
- 転送が終了すると、メッセージが表示されます。

▶ OPP を利用して電話帳データを転送するとき

- 1 “電話帳転送” を選択。
  - 2 “電話機から Bluetooth で転送” を選択。
  - 3 電話帳にすでに電話帳データがある場合は、転送方法を選択。
- “上書き”：現在のデータに上書きされます。
  - “追加”：現在のデータに追加されます。
- 4 携帯電話を操作して電話帳データを転送する。

送操作をやり直してください。

- 転送するときは、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動した状態で行ってください。
- PBAP に対応している携帯電話では、携帯電話の機種により携帯電話の操作が必要ことがあります。
- Android Auto 接続中のときは、OPP を利用した転送はできません。
- 本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。
- シークレットメモリの転送はできません。（携帯電話の機種により転送できる場合もあります。）
- 携帯電話の機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワード（“1234”）の入力が必要になります。
- 携帯電話の電話帳データすべてを転送する場合、10 分程度かかる場合があります。
- 電話帳データ転送中の動作については、次のようになります。
  - ・ エンジンスイッチ<パワースイッチ>を OFF にすると、転送は中止されます。この場合は、エンジン<ハイブリッドシステム>を始動して、転送操作をやり直してください。
  - ・ 転送中画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。電話帳データ転送は継続されます。
  - ・ 着信があった場合は、データ転送が着信のどちらかが優先されます。着信が優先された場合は、通話は携帯電話本体での通話になります。通話終了後、転送操作をやり直してください。
  - ・ 発信操作はできません。
  - ・ Bluetooth オーディオの接続が切断されることがあります。転送が終了すると再接続されます。（接続している Bluetooth 機器によっては、再接続で



知識

手動転送の操作方法

- 転送失敗画面が表示されたときは、転

きないことがあります。)

- ・ 本機のメモリ容量不足、または何らかの原因で転送が中断されても、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
- 転送された電話帳データについては、次のようになります。
- ・ 携帯電話の電話帳で 1 つの名称に 5 件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号が登録されます。
- ・ 電話番号と同時に名称も転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- ・ 携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。
- ・ 本機の電話帳で表示されるアイコンは接続している携帯電話の情報を元にして自動で割り当てられます。ただし、携帯電話の機種や使用環境によっては、表示されるアイコンがすべて同じになることがあります。

3 “USB メモリから転送” を選択。

4 すでに電話帳登録がある場合は、“追加” または “上書き” を選択。

5 vCard ファイルリストから、転送したいファイルを選択。

● 転送が完了すると、“電話帳／履歴設定” が表示されます。

USBメモリによる転送方法

## USB メモリーの電話帳データを転送する

USB メモリーに登録してある電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。

Android Auto 接続中のときは、この機能は使用できません。

● USB メモリーの電話帳データは、vCard 形式 (.vcf) のデータのみ転送可能です。

1 USB 端子に USB メモリーを接続する。

2 “電話帳転送” を選択。

## 電話帳に連絡先を登録する

本機の電話帳にデータを入力して連絡先を追加することができます。

電話帳には、1名のデータにつき、次の項目が登録できます。

名称、電話番号（最大4件）、アイコン（各電話番号にそれぞれ1つ）

- 1 “電話帳登録”を選択。
- 2 各項目を編集する。

### ■ 名称、電話番号、アイコンの編集をする

電話番号は1名につき最大4件登録できます。また、それぞれの電話番号にアイコンを登録できます。

- 1 ソフトウェアキーボードで名称を入力し、“OK”を選択。
- 2 ソフトウェアキーボードで名称（読み）を入力し、“OK”を選択。
- 3 電話番号を入力し、“完了”を選択。
- 4 登録したいアイコンを選択。
- ▶ 電話番号を追加する場合
- 5 “はい”を選択。
- 手順2に戻ります。
- ▶ 編集を終了する場合
- 5 “いいえ”を選択。

## 電話帳のデータを編集する

登録済みの電話帳データを編集することができます。

- 1 “電話帳編集” を選択。
- 2 修正したいデータを選択。
- 3 希望の項目を選択して編集する。

電話帳編集 13:01

姓名 : あいうえお

セイメイ : アウエオ

電話番号 1 : 0000000000

電話番号 2 :

電話番号 3 :

電話番号 4 :

OK

- 4 “OK” を選択。

### ■ 姓名の編集をする

- 1 “姓名” を選択。
- 読みを編集するときは、“セイメイ” を選択してください。
- 2 ソフトウェアキーボードで入力し、“OK” を選択。

### ■ 電話番号を編集する

- 1 “電話番号 1” ～ “電話番号 4” のいずれかを選択。
- 2 電話番号を入力し、“完了” を選択。
- 3 登録したいアイコンを選択。

## 電話帳のデータを削除する

- 1 “電話帳削除” を選択。
- 2 削除したいデータを選択。
- 3 “削除” を選択。
- 4 “はい” を選択。